

令和2年度 会員研修会

講演

「今日からできる！ 子どもの心を育てる声かけのヒント」



講師 森 夏穂 先生
日時 令和2年7月20日（月）
会場 アクトシティ浜松
研修交流センター52研修交流室
参加人数 23名
主催内容 浜松市私立幼稚園PTA連絡協議会
会長研修会

講演内容

講師に「森夏穂」先生をお迎えして、「今日からできる！子どもの心を育てる声かけのヒント」と題し、心理学の知見に基づいて、

- ・子どもに伝わるコミュニケーション
- ・感情の社会化（子どものネガティブな感情の扱い）
- ・コロナ禍のメンタルヘルス
- ・リラクゼーション

の4つの項目について講演していただきました。

子どもたちには肯定的な表現で声掛けをすることが重要で、否定的な表現で声掛けをすると、自尊感情を落としてしまいます。

また子どもが抱く感情を大人が受け止め、その感情を言葉にすることで「感情の社会化」、言語化することによって子どもは自らの感情を他者へと伝えられるようになります。

そして、夫婦間でも同じように肯定的な言葉で会話することが大切です。夫婦で協力して子育てを行うために、あらかじめ言葉や態度の方針を話し合っておくことで、両親が共に感情的にならないように気を付けてほしい、とのことでした。

最後に、コロナ禍では子どもも大人も大きなストレスを受けるため、自分に合ったストレス解消法を子どもたちと一緒に探しましょう、と締められました。

親子で一緒にいる時間が長くなる中で、言葉かけの重要性を改めて考えさせられる講演でした。

森先生の経歴

静岡県私立幼稚園振興協会 子育て支援カウンセラー
臨床心理士 公認心理師
スクールカウンセラーをはじめとする、様々な公的機関にて子どもたちや保護者のメンタルケアで活躍中。

H P連だより

令和2年度 第1号

編集発行 浜松市私立幼稚園PTA連絡協議会

CONTENTS

- ・令和2年度会長研修会
- ・我が家のストーリー
- ・令和2年度会員研修会
- ・令和2年度活動報告
- ・会長挨拶

日頃はPTA活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため思うような活動ができない中、皆様のご協力もあって会長研修会と会員研修会を開催することができました。

まもなく新たな年度を迎えます。新型コロナウイルス感染症は未だ終息の見通しは立っていませんが、新年度が皆様にとって明るい1年となりますよう、子どもたちや保護者の皆様と頑張ってください。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度のP連だより発行はこの1号のみとなりますが、「我が家のエピソード」と題しまして皆様より多数のエピソードを寄稿していただきました。是非ご覧ください！

我が家のエピソード

P連だより

コロナ禍での自粛生活からスタートしたこの1年。新しい生活様式に不安ばかり感じる私をよそに、家の中で過ごす時間が増えた2人の娘達は折り紙や工作をどんどん発展させて毎日作品展状態に。また、新しい歌やカードゲームなどを次次覚えて、私の方が教えてもらったたり負けてしまうこともあります。特別なお出かけなどは全く出来ない日々でしたが、親が何かを与えなくても自分達で遊びや楽しみを見つけ出す姿に大きな成長を感じ、その大切さを再確認できたこの1年の時間が私の大切な思い出になりました。

天王幼稚園

我が家の年長の娘は、入園してから一度も朝バスに乗りたくなくて泣いたり、嫌

がったりしたことがなく、親としてはとても助かった。でも、幼稚園登園の初日はやはり緊張していたのか、見送る私を見る顔はとても不安そうで、あの時の娘の顔は今でも忘れられない。私は笑顔で手を振っていたが、娘は手を振ることもなく、じっと私の顔を見て出発していった。バスの後ろ姿を見て私は涙が溢れてしまった。泣いたらママが困るかな、そう思って泣かないで出発してくれたのかな。もう少しでバスでの登園が終わる。本当は幼稚園に行きたくない日もあったよね。でも毎日手を振って出発してくれてありがと。それだけでママも一日頑張れました。

青葉幼稚園PTA会長 伊藤七子



あけぼの幼稚園

心掛けていること
我が家の二男はダウン症。長男と同じような子が産まれてくると信じていたので医師から告げられた時はショックで、これからどうやって育てていったらいいのだろう・・・と不安な気持ちでいっぱいになりました。でも、特別なことは何もありません。上手にできた時はいっぱい褒めて、いけないことをした時はダメだと教える。成長するスピードは違って、子育ての基本は同じです。二男は負けず嫌いで、何でもお兄ちゃんの真似をして日々競い合っています。これからも大好きなお兄ちゃんを見本にして、兄弟仲良く成長してほしいと思います。

我が家のエピソード

P連だより

毎週金曜日は絵本貸出の日。電車、自動車、昆虫、折り紙、おぼけの話。持ち帰ってくる絵本から今、息子が何に興味があるのかが伝わり、金曜日の絵本を見て、昆虫を見に行ったり、折り紙で色々作ってみたり・・・と、週末の過ごし方を決めることもあります。親にあれこれ言われずに好きな本を自由に選ぶことで、彼の漠然と興味のあるものを絵本という形で知ることは親としても興味深く、これからも息子の選んでくる絵本を家族で楽しみたいと思っています。

朝田幼稚園

昨年11月に三人目の子を出産。長男は小1、長女は年中。寝込む私の枕元に自分たちでお花を添えてくれる優しさの中に成長を感じ、妊婦ごっこ、お腹の大きい絵、名前は何にしようかと楽しみに過ご

していました。

しかし、ある日娘が赤ちゃんに变身。ついにきたかという感じ。赤ちゃん抱っこに食事介助、仕舞いにはおしゃぶり。ありとあらゆる甘えをぶつけられ、出来る限り受け入れ手をやきました。退院日、赤ちゃんを見た娘の表情がバツと変わった事を覚えています。今では、弟をとて可愛がり、お話ししイキイキとしてお姉ちゃんです。

美波幼稚園 中山香津恵

「我が家にピアノが来た日」
友人からピアノを譲ってもらった。その日から、年長の次男がピアノに興味深々。園生活で鍵盤ハーモニカに触れているせいもあるのか器用に弾く。幼児期は感性が豊かであり、手に触れて目につくもの全てに関心がある。自由に鍵盤をたたき

夢中になる次男がとても愛らしい。そんな次男も、入園当時よりずいぶん成長した姿に少し寂しさもある。これからも一緒に過ごせる時間を大切に、温かく見守っていきたい。

上島幼稚園

我が家の息子(年少)は、小さい頃から回るものが大好きです。ボールがころころ転がるおもちゃで遊んだり、風ぐるまを扇風機で回してじっくり眺めたり。1月に幼稚園で行ったこま回しは、とても上手にできたようです。最近では、台風や竜巻などの「回るお天気」に興味を示し始めました。次はどんな「回るもの」に興味を持つのかとても楽しみです。

篠ヶ瀬幼稚園

我が家のエピソード

P連だより

PTA会長になって間もなく一年。コロナに始まり、行事の中止、延期、企画の再検討・・・、いろいろありましたが「あつ」と言う間の1年でした。実は、PTA会長は2度目。前は現在大学生になる娘が年少ときから「ほんの3年」務めておりました。うちは、上から22歳（女）19歳（女）6歳（男）という、少々バランスに欠ける年齢構成のため、末っ子の扱いは「孫」を飛び越え「ベッタ」。家族のおもちゃとして日々利用されています。そんなベッタ・・・いや末っ子も一年生。これからが始まる学校生活を「老眼」と「五十肩」の持病を抱えながらも末永く見守っていきたいと思います。

北浜幼稚園PTA会長
松野 史

家業がお寺の我が家では一年の行事をとても大切にしています。そして行事を行う度に「般若心経」を唱えます。娘は小さい頃から般若心経を聞いて育ちましたので、暗記している訳ではありませんが、とても上手に読む事ができます。お唱えする事で姿勢も伸び、何よりも心穏やかに落ち着けるのは、慌ただしく過ごす日々の中で、一時の安らぎや癒し、気分転換にもなります。これからは娘と一緒に続けていこうと、そしていつか何も見ずにお唱えできる様になれば良いなと思っています。

ひくま幼稚園

もつすぐ小学生になるのんびり屋の娘、そろそろ朝の支度を自分でやれるようになって欲しいのですが、なかなか自分ではできず、遅刻しそうになってしまうの

水窪幼稚園 西岡

で、ついつい大人が娘の支度をしてしまいます。以前、娘が幼稚園で頑張った事があった時に「先生から可愛いシールをもらえたよ」と喜んでいた事があったので、月曜日から金曜日までの表を作り、娘が自分で支度できたら好きなシールをそのままに貼れるようにしてみました。そうしたら、今までできなかった支度が自分でできるようになったのです。幼稚園の先生はやっぱりすごい、子どもに関するプロだと感激しました。そんな先生達のおかげで娘はこの3年間とても成長しました。本当に感謝しかありません。

我が家の家族は、生き物が大好き。かたつむりやカブトムシ、かめ、犬、猫などたくさん生き物に囲まれて暮らしてい

我が家のエピソード

P連だより

ます。3年程前の梅雨の季節、長女が小学校の下校途中に、段ボール箱に入った生後間もない3匹の赤ちゃん猫を拾ってきました。正直「どうしよう。」と思いました。娘の「子猫を助きたい」という優しい気持ちがとても嬉しくて、その行動力に感心し、誇らしく思ったものです。その後、家族で三つ子の赤ちゃん猫の育児に奮闘したことは、今でも我が家の温かな思い出です。

花園幼稚園 山本美香

家族への思い
家族とは、家によって結ばれた繋がり。共同体のことであり、一般的には夫婦や親子その他の血縁、同じ家に住み生活を共にする者という意味合いまで含めて用いられる表現と辞典に記されています。

緑ヶ丘幼稚園 園児 父

言葉の意味だけを見ると、何だか寂しい気持ちになるのは私だけでしょか。幼い頃は両親、祖父母、兄妹がいて守られ、結婚し子供を授かり守る側へ変化はあれど、そこには少なからずとも思いがあり感情があるからだと思います。我が家には私と妻、娘が二人います。妻や子供達が家族とは温かい言葉だと感じてくれるような家族になりたく思います。

園が設ける「預かり保育」の恩恵を受け、共働きの私達夫婦は安心して就労する事が出来ている。園に残る時間が長い我が子の、「皆と同じ時間にバスで帰りたい」と言う気持ちに答えきれない事が幾度とあったが、卒園を目前とした今日まで私達がやってこられたのは、やはり園の温

河輪幼稚園 年長母

かさ、身近さのお陰だったと思う。そんな「預かり保育」が無い日は、私は早々に仕事を切り上げ、自宅へ走る。この後どう楽しく過ごそうかを考えながら、バスに揺られる我が子を玄関で待つ。「ただいま」「おかえり」我が家の母と子の、ささやかな楽しみのひとつだ。



我が家のエピソード

P連だより

家族の思い出
近年、キャンプデビューをした我が家。キャンプに出掛けるといつになく目を輝かせ、おもちゃやゲームがなくても、大自然の中に楽しい遊びを見つける子ども達。ただただ走り回ったり、虫を探したり、テントの中でくだらない話で大笑いしたり。川を見つけると、9月末なのに全身びしょ濡れで大はしゃぎ！大自然の中にいると、不思議と喧嘩がない、親も怒らない、みんなが笑顔でいられて、家族の絆が深まる気がします。10年後も20年後も、あの時楽しかったねと言えるような思い出をこれからもたくさん作っていきましょう！

ずだしこども園



「一年一冊のアルバム」
手軽にいつでもスマホひとつあれば、写真が撮れる時代。手軽に撮れるがゆえに、いっぱい写真を撮って保管はデータのまま、なんてことになってしまいがち。わが家は、写真にして0歳から一年一冊のアルバムを作成しています。各アルバムの1ページ目は、その歳の誕生日の写真と手型・足型で始まり、写真と一緒にコメントとお出掛けした時のチケットなども一緒に入れて、思い出を綴っています。子どもも、自分の小さい時の写真を見るのが楽しいようです。

早出幼稚園

娘と二人で教育番組を見ていた際に「大丈夫？」の一言が相手を気遣う言葉として紹介されていました。それ以来、家族が体調の悪いとき、「痛いっ」と誰かが

富塚幼稚園 松原麻里子

思い出すのは数年前、下の娘が1歳で、ちよっと無謀と思いつながらも強行してみたアメリカ旅行。案の定、娘は往路で熱を出し、旅程の半分は看病に。それでも今から思い出せば、これぞ「アメリカ風のステイホーム」。こんな体験なかなかできません！・・・ウソウソ、半分負

我が家のエピソード

P連だより

け惜しみ。でもそこまで達観できませんが、こう思うようにしています。
「人生何が起こるかかわからないから面白い！」
これぞ我が家のストーリーです。

日本文教幼稚園 PTA会長 鶴見健了



我が家には小学二年生と幼稚園年中の娘がいますが、寝る前には布団の中で本を読むようにしています。私自身が子供の頃に母から寝る前に本を読んでもらっていた記憶があり、今でも実家には昔読んでいた本がたくさんとってあります。実家に行った時は「貸出絵本」として本を借りて読んでみます。私が母から挑んでもらっていた本を、娘たちに読んで聞かせる時は感慨深く思います。これから

も本を通して家族が繋がっていければ嬉しく思います。

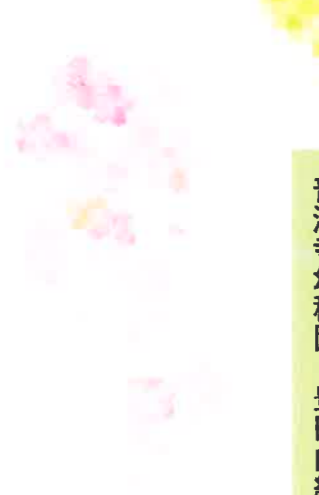
萩丘幼稚園

我が家は今、空前の釣りブームです。一昨年から釣りを始め、小3の長男、年長の次男は大物を釣ろうと必死です。年長の長女は釣れた魚や生き餌を触る専門です。全く釣れない日もありますが、釣れた時は楽しく、釣れない時は悔しい、何でもいから釣りたいなど、様々な感情を持ちながら釣りを楽しんでいます。私は家族みんなで経験を共有することを心がけています。これからも色々な経験を通して成長してくれることを願い、楽しんでいきたいと思っています。

なかざわこども園 PTA会長 竹下育男

私が子育てをする上で心掛けていることは他の子と比べないということです。長男は早生まれで身体も小さく、中学上がる迄は、ほかの子より成長が遅いことが目立っていました。しかし、人は花が咲く時期がそれぞれ違う様に、持って生まれた性格や育った環境によって、成長のスピードも違うものだ、成長のスピードも個性だと思つのです。比べずその子自身をよく見てあげること短所よりも長所に目がいくこととなり、ほめることで子供に自信を与え、より成長を促すことに繋がるのではと考えています。

普濟寺幼稚園 豊田由紀



我が家のエピソード

P連だより

家族円満のコツ
我が家では子ども達に、『自分が生まれ
た理由』を伝えていきます。なぜなら、子
ども達はそれを知ることによって、自分
のことが大好きになるから。あなたのこ
とを待っていた あなたにどれほど会い
たかったか。このことをお父さん、お母
さんから話してもらおうことってなかなか
無いのではないだろうか。いつも子ど
もにする声掛けと、子どもが求める親か
らの声掛けにはズレがあるそうです。

「支度終わった？」「早く食べて」より
も「今日はどんなことして遊んだの？」
「明日の楽しみはなあに？」子どもが話
したくなる声掛けを意識しています。

年中母 浜松葵幼稚園

我が家は3人家族、大家族ではありません
んが毎日にぎやかです。その秘密は「声

できた。これからは親子の時間を密に過
ごしていきたい。

平和こども園

躰について
言う事を聞かない息子に対して、怒る事
もしばしばあるが、頭を切り替えて、寄
り添いながら問いかけてみると、なぜ言
う事を聞かないのか理由を説明してくれ
た。また、息子にこうなって欲しい姿を、
私自身が手本となって態度で示すと、息
子も自然とマネするようになった。親と
して恥ずかしくない行動を息子に示して
いきたいと思っている。

蒲幼稚園

の大きさ」です。大きな声はどこにい
てもお互いの存在を感じる事ができます。
また

「おはようーありがとー楽しいねー」
と、娘やパパが大きな声で言ってくれる
と嬉しい気持ちになります。それが我が
家の日常です。今日もパパは仕事場、娘
は大好きな幼稚園で、私はテレビを見な
がら？ママ友と？それぞれの場所で大き
な声が響いているはずですよ。

迷惑のかからない程度に・・・笑

海の星 鷲の宮幼稚園 荒川昌子

「全集中！」は、子供だけではなく大人
の世界でも大流行。聞くところによれば、
この集中力は、遊びの中で育まれていく
ものとかそこで、我が家では「遊びを邪
魔しない」よう心掛けています。たとえ

それぞれの家庭には様々なお約束・ル
ルがあると思います。決して法律のよう
な絶対的なものではなく、守れなかった
としても次は気を付けようと諭してあげ
れる程度のものでいいです。「いつでもどこ
でも履物はしっかりと揃えよう」何事も足元
から、たとえばどんなに急いとも、突然
のハプニングが起きようとも慌てずに自
分の足元を向けられる心のゆとり。親
になり常にそうありたいと願う日々です。
何より履物が綺麗に並んだ玄関って気持
ちいいですよ。

気賀幼稚園父母の会 五十嵐宗和

今年、我が家は初めてキャンプへ行きま
した。普段、十才、六才の娘は自分から
進んでお手伝いすることがあまりなく、
便利な生活から電気もなければガスもな

ば、長男が洗面所で遊んで床が水浸しに
なっても「ダメ！」と叫びたい気持ちを
ぐっと我慢。遊びに満足するまで見守り
ます。そんな長男もこの春で小学生。我
慢の甲斐あって集中力のある子に育った
・・・かどうかは不明ですが、私の忍耐
力は鍛えられました♪

浜松海の星幼稚園スギナ会 会長 津田理加

突然、自粛生活からのスタート。時間に
追われる日々から足を止めてみると心に
ポッカリ穴が空いた。子供との時間を過
ごしていく中で一緒に出来る事を見つけ
る良いキッカケになった。料理を作った
り、カードゲームをしたり、親の方が熱
くなり盛り上がりたり。この様な時間が
あったからこそ、ゆっくりと子供と向き
合い、興味や成長を改めて気づくことが

い、みんなで協力しなければご飯も食べ
られない環境でどうなるのだろう。と不
安がありました。娘たちは自然の中で
その不便さが逆に楽しかったらしく進ん
でお手伝いをしてくれました。
キャンプを通して子供たちの成長がみら
れ、うれしく思いました。

さなる幼稚園

ママ大好き
小2の長男と年長の次男。2人ともママ
が大好き。どんなに怒ってもママがいい！
私がソファに座ると2人で私の隣の取り
合い・・・寝る前は必ずチューをして、
「ママ大好き」と言ってくれる。毎日た
くさんの愛をもらえてママは幸せです。

志都呂幼稚園

我が家のエピソード

P連だより

我が家のエピソード

P連だより

我が家の最近のブームは山登りです。山頂までの道のりは、楽しい時もあれば、転んで痛い思いをしたり、疲れて苦しい時もあります。そんな時、年長の長男と3歳の双子の娘達は、パワーアップアイテムという名のおやつを食べながら頑張っています。家ではケンカの多い子ども達も、自然の中ではお互いに支え合い、一歩一歩進んでいきます。子ども達が遅く成長しているのを実感すると同時に、大人の運動不足解消にもなっています。

クリスマスフェアこども園
会長 矢部千奈津

「チャレンジ派とコツコツ派」

幼稚園年長の息子と、2歳年上の小学校2年生の娘は折り紙で製作することが大好きです。息子はあえて難しい折り方のものにチャレンジし、途中から周りの

助けを必要とします。娘は自分で説明書

を見ながらコツコツ自分で完成させます。自分にはないものを相手が持っている歳の近い2人はぶつかり合い、刺激し合い、助け合い、思い合い、学び合つ。日々の生活や遊びから自然と心が成長していくですね。

鴨江幼稚園 PTA会長
内山真理子

「今日はどの料理？」から始まる夕食の準備。色々な食材を使い世界の料理を皆で楽しむ夕食。同じ食材でも使用するスパイス一つで全く違う料理が出来上がる。子供の食に対する興味を深める事が我が家なりの食育だ。出来た料理の国の言葉で「いただきます」と「ごちそうさまでした」。今後も様々な言葉や文化に触れ、世界のどこでも生きていける力

を是非身に付けていって欲しいと思つ

さて、今夜はこの国の料理を作るつか。

アソカ学園百花幼稚園父母の会
会長 アーヴィン良恵

「ありがとう」「ごめんね」この言葉を心に込めて伝えられたら、世界平和につながると思つている鈴木家。ある日、息子が友だちを傷つけてしまった。「ママも一緒にあやまりにいっから、自分でもちゃんと言おうね。」パパにもそのことを約束。友だちのお母さんを前にして謝りながら泣き出してしまった息子。言葉にするのは重かったよね……。ちゃんと覚えてえらかったね。これからも親としては心が痛い出来事にも親子で向き合い二つの言葉を大切にしていきたいと思つう。

駅南幼稚園

P連だより

我が家のエピソード

「言葉より行動で」
周りに優しく！あいさつは大事！とても大切な事なので、子供には根気強く教えています。すぐには出来なくても、コツコツ言い続ける事で出来る様になるでしょう。でも・・・一番大切なのは親が手本になる事なのだと言います。あいさつも優しさもまずは自分からするとおのずと自分に返ってくるのではないのでしょうか。そんな人にとってほしいから私は今日も笑顔であいさつをして当たり前の事ですが周りに優しくしたいと思います。そして毎日楽しく過ごして大人になるのって楽しそう！と思つてほしいです。

平成幼稚園 PTA会長
菊池加奈子

毎年我が家では、節分は特に気合の入る行事です。鬼の登場はありませんが、お

祭り騒ぎで豆やお菓子をまきます。今年

も幼稚園で行事の意味を教えてもらい、鬼も退治してきたと得意気な息子、意味を知りながらもお菓子まきだという娘。二人の成長を感じながら楽しく豆まきをしました。私自身が幼いころから毎年続けているこの行事を、いつか子ども達が家庭を持ったときにも楽しく続けていってくれたらと思つています。

湖東幼稚園 PTA会長
羽賀佳奈子

心掛けていること

コロナで休園になり、私も仕事をお休みすることにしました。その間、普段なかなかできなかったことに挑戦。段ボールで工作をしたり、一緒に料理をして庭で食事をしたり。

気づけば毎日笑顔で過ごせました。

自分が楽しむことが子供にとっても一番良いことなんだと改めて感じました。

春日こども園 中野 茜

我が家に天使がやってきて五年目。最近やっと家族の呼吸が合うようになりました。心掛けているのは言葉です。家族だからわかるだろう、わかってくれるだろうという思い込みを捨て、家族だからこそ丁寧に伝えるようになりました。嬉しい喜びや感謝の言葉はお互い幸せな気持ちになりますし、相手の思いを知ることにはたくさんの気づきとなって毎日が新鮮になります。個性豊かな我が家だからこそ、個を尊重し合えることが幸せへの一歩です。

佐藤幼稚園

我が家のエピソード

P連だより

我が家には、3人の娘がいます。同じ遺伝子、同じ性別、同じ食事や生活環境のために、不思議なほど性格が違います。そのため気持ちや言葉がぶつかり、うまく自分を伝えられずイライラすることもたくさんあります。そしてそれは親も同じ。子供も親も人間ですからやはり大事ななのは「コミュニケーション」だと思います。喜怒哀楽があつて当たり前。なので我が家は、相手のことを理解し、自分のことを伝えるため「コミュニケーションを大切にしよう」と親子で話しています。今は家庭という少し狭い世界ですが、これから広い世界に出て行く子供たちの大事な基礎になるように、親として一緒に成長していきたいと思っています。

相生こども園 中村裕美

我が家のエピソード

P連だより

「ママ、我が家は10人家族だね〜！」これは六才の息子の一言です。コロナ禍で家で過ごす時間が多くなったこともあり、去年からハムスター4匹、トイプードルを一匹飼い始めました。5年生、2年生のお姉ちゃんを中心に世話係も当番制にしています。今まで以上に家族が賑やかになり、笑いが増えたことを実感しています。ペットとの暮らしの中で、家族の絆や思いやりの心も育むことができたと思います。我が家は、ハグやスキンシップ、言葉でちゃんと伝える事を大事にしていますが、これからも仲良しの家族で一緒に過ごせる時間を大切にしていきたいです。

浜松学院大学付属幼稚園
父母の会会長 山岸絵里

我が家では、「子どもたちと、今一緒にできることを楽しく！」を心がけています。

たくさん歩けるようになったら、お菓子やお弁当を持って三ヶ日を散策、自転車に乗れるようになったら猪鼻湖をサイクリング、ルールが分かるようになったらゲーム大会。

できることを見つけ、どうやったら一緒に楽しめるか考えるのも、子どもたちの成長を感じる喜びとなっています。

三松幼稚園PTA会長
大野正宏

心がけていること

「ありがとうは？」何かをしてもらった時、親に促されて言っていたのがいつからか自分から言えるようになりました。やってみよう事が当たり前ではなく毎日、先生やお友達やバスの運転手さん、いろんな方に助けてもらっていることに「ありがとう」を言う意味や大切さ、自分が言われた時嬉しい気持ちになる事わかってほしい。

これからもたくさん「ありがとう」を言おう！そして「ありがとう」を伝えるようになってくれてありがとう。

旭ヶ丘幼稚園 金子香穂利

我が家のストーリー！

3年前、息子の幼稚園入園を機に夫の地元である浜松に家族で移住して来ました。3人からスタートした私達は4人家族になり、いつの間にか沢山のひと繋がりが出来ました。

大きな決断でしたが、この街で子供達を沢山のひとに愛され育てる事が出来て本当に良かったと思います。

この春卒園を迎え、また新しい場所での出会いがとても楽しみです。

昭和幼稚園PTA会長
中村舞



我が家の子育てで心掛けていることは、子どもとのコミュニケーションです。

毎日帰宅したら学校や園での出来事を聞くようにしています。給食は何食べたの？誰と遊んだの？何か変わったことはあった？など、いろいろ聞いてみると大きな事から小さな事まで自分から話をしてくれるようになります。1日の中で子どもと離れている時間が多いので、1日の出来事を毎日聞くことで子どもの様子や感情の変化、友達関係、周りの様子などを知ることができるので、子どもとのコミュニケーションを取ることに役立てています。

佐鳴台入野幼稚園会長
坂井絢香

令和2年度会員研修会

講演

WITH メディア ～スマートメディアと子どもの健康・学力～

講師
日時
会場
参加人数
主催内容

今井 昌彦 先生
令和3年1月20日(水)
浜松市福祉交流センター
45名
浜松市私立幼稚園PTA連絡協議会会員研修会

今井先生の経歴

名古屋大学教育学部卒
名古屋大学大学院教育学研究科博士課程前期課程を経、後期課程在籍中に東海学院大学短期大学部児童教育学科(教育情報)に赴任。その後、東海学院大学情報館館長、生涯学習センター長、コミュニケーション学科長、岐阜県IT戦略会議人づくり分科会長、NPO法人岐阜県IT戦略センター理事長、ITベンチャー企業(株)ディースイト・ドットコムCEO、NPO法人K-IT シティー・コンソーシアム理事長を歴任。2016年7月より、「全国ネット依存レスキュー協議会」の理事長に就任し、その活動範囲を広げている。
2020年4月より、浜松学院大学短期大学部長に就任。



※専門は、教育工学、教育情報学、教育方法論、教育コンテンツ制作等
※現在の講演活動は愛知を拠点に、岐阜・三重・静岡の東海4県にて、講演回数は2020年12月1日現在、1,040回を数えている。

P連だより

我が家のエピソード

「扁桃炎に打ち勝った息子」
年中、半袖で過ごす元気な幼稚園。しかし、年長の息子は酷いと二週に一回のペースで四十度を超える発熱をくり返していました。今年度は、六回の入院も。原因は、扁桃炎です。去年、主治医から摘出を勧められ、発熱による二回の中止を経て、十一月に三度目の正直で無事摘出できました。それ以来、今日まで発熱はゼロ。小さな体で本当によく頑張った。そんな息子の将来の夢は、何度も助けてくれたヒーロー、お医者さんになることです。素敵な夢、叶うといいな。

あすなろ幼稚園母の会
西川理恵

我が家は国際結婚なこともあり、日頃より子供達には文化の違い、色んな考えを受け入れられる子育てを心がけておりま

す。ある時次女のプレゼントのお人形セットに黒人のお人形もありました。日本では見慣れない肌の色のお人形に対して、椰揄つように笑いました。知らないうちに、このような偏見をもってしまうことに驚きました。あなたも、よその国へ行ったら外国人。見た目も違って、笑われるかもしれない。人は自分がその立場にないこと分らないことも多いですが、我が家では、「明日は我が身」だということを得て、人の立場にたち優しくいられるように、ということを子育てで一番心掛けています。

松城幼稚園
マルシアリ茉莉亜

我が家では、毎年、私や親戚から頂くお年玉は、お金の勉強として、子供が考えるがままに使わせています。次男は、正月に欲しいと思った玩具を即購入。長男

は、欲しい物を通販サイトで最安値、ポイント還元を比較し購入。一番年上の長女は、それらを経験し、昨年から自宅カフェの経営を始めました。コーヒーは豆から仕入れ利益を上げ、荒稼ぎをしています。来年もお正月が楽しみです。

成子幼稚園

PTAの皆様、
お忙しいなかで
多くのエピソードを
寄稿して頂き、
ありがとうございます！
ございました！